

(2022年10月～12月期実績と2023年1～3月期の見通し)

調査日 2022年12月中旬

調査方法 金庫職員による面接聴き取り調査

調査対象 金庫取引先204社(製造業 35社、卸売業35社、小売業35社
サービス業35社、建設業 35社、不動産業29社)

有効回答率 100.0%

分析方法 (D.I.):diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

概 況

1. 景況 ～前回調査より改善～

今回調査(2022年10月～12月)の総合業況判断D.I.は▲14.7と前回調査(2022年7月～9月)と比較して、6.8ポイント改善となった。

行動制限緩和による経済活動の再開により金沢市を中心に宿泊・観光関連サービス・飲食業などがコロナ前の水準に戻りつつあり、個人消費の持ち直しが窺える。

業種別では小売業とサービス業で13.8ポイント、卸売業で12.3ポイント、製造業で11.7ポイントと大きな改善がみられた。建設業は横ばい、不動産業では13.8のポイントの悪化となった。

不動産業の悪化については、金沢地区以外において不動産販売や造成が減少したことが要因となった。

業績面では売上額D.I.が5.9と前回調査からプラスに転じ、14.7ポイントの改善になった。

収益D.I.についても▲4.4と僅かなマイナスであるが、前回調査から12.8ポイント改善がみられている。

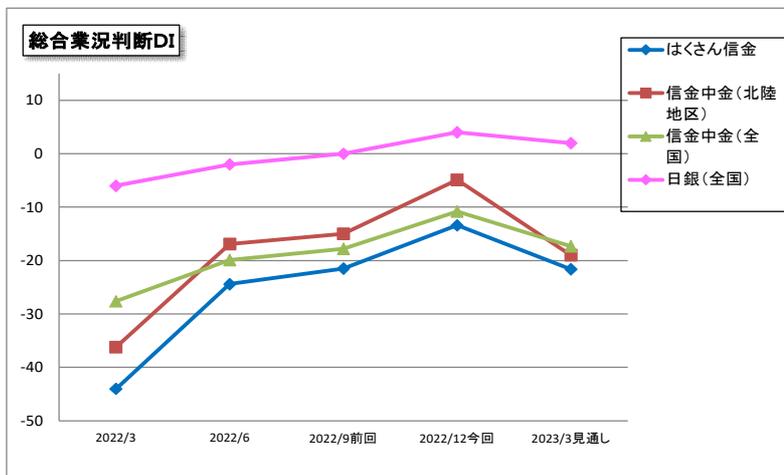
資金繰りD.I.についても1.2%ポイント改善し、金融支援の継続効果がみられる。一方、仕入価格D.I.については10.0ポイント悪化、人手IDは4.5ポイント悪化しており、資材・エネルギー価格の高騰と人手不足が増していると思われる。

2. 3か月後の見通し～見通しは慎重な判断～

業況判断D.I.は▲21.3で6.6ポイント悪化の見通し。卸売業・不動産業以外の業種ですべて悪化の見通しであり、資材価格とエネルギー価格の上昇の継続、先行きの不透明から慎重な見通しがなされていると考えられる。日本銀行の金融政策運営変更に伴う長期金利の上昇や、欧米のインフレ・景気後退、中国における新型コロナ拡大による混乱などの業況の下振れリスクは増加しており、今後の景況について注視していく必要がある。

【総合 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業 況 判 断	▲44.0	▲24.4	▲21.5	▲14.7	▲21.3	↗
売 上 額	▲37.6	2.4	▲8.8	5.9	▲15.3	↗
収 益	▲39.5	▲12.0	▲17.2	▲4.4	▲17.2	↗
販 売 価 格	6.0	26.3	26.0	31.5	24.8	↗
仕 入 価 格	56.1	69.8	74.4	64.4	50.7	↘
在 庫	▲4.9	3.5	0.7	▲3.0	▲6.6	↘
資 金 繰 り	▲17.9	▲19.2	▲14.4	▲13.2	▲17.2	↗
人 手	▲16.8	▲27.7	▲28.2	▲32.7	▲33.7	↘



※全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

【業種別業況天気図】

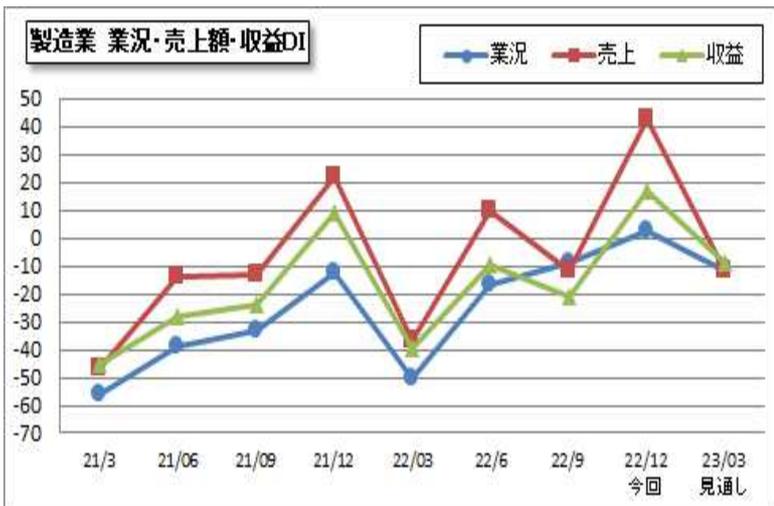
業種別業況天気図	2022年3月	2022年6月	前回 2022年9月	今回 2022年12月	次回見通し 2023年3月
総 合					
製 造 業					
卸 売 業					
小 売 業					
サ ー ビ ス 業					
建 設 業					
不 動 産 業					

業種別の特徴(業況DI)

製造業

今回調査業況DIは、「2. 9」

～ 前回調査比 11. 7ポイントの改善 ～



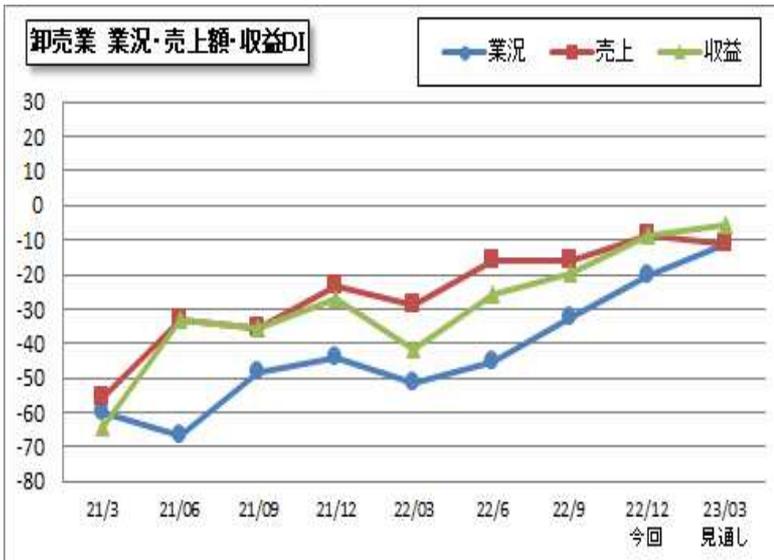
【製造業 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲50.0	▲16.4	▲8.8	2.9	▲11.8	↗
売上額	▲36.5	9.7	▲11.8	42.9	▲11.4	↗
収益	▲39.7	▲9.7	▲21.2	17.1	▲8.6	↗
販売価格	6.8	30.6	35.3	47.1	35.3	↗
原材料価格	58.3	80.0	78.8	63.6	33.3	↘
原材料在庫	▲7.0	10.0	9.1	3.0	▲3.0	↘
資金繰り	▲23.3	▲16.1	▲23.5	▲11.4	▲20.0	↗
人手	▲13.5	▲25.8	▲23.5	▲45.7	▲54.3	↘

卸売業

今回調査業況DIは、「▲20. 0」

～ 前回調査比 12. 3ポイントの改善 ～



【卸売業 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲51.6	▲45.2	▲32.3	▲20.0	▲11.4	↗
売上額	▲29.0	▲16.1	▲16.1	▲8.6	▲11.4	↗
収益	▲41.9	▲25.8	▲19.4	▲8.6	▲5.7	↗
販売価格	25.8	51.6	35.5	28.6	34.3	↘
仕入価格	71.0	67.7	74.2	77.1	57.1	↗
在庫	12.9	12.9	9.7	11.4	8.6	↗
資金繰り	▲12.9	▲35.5	▲16.1	▲8.6	▲8.6	↗
人手	▲23.3	▲19.4	▲33.3	▲26.5	▲29.4	↗

小売業

今回調査業況DIは、「▲42. 9」

～ 前回調査比 13. 8ポイントの改善 ～



【小売業 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲63.4	▲40.0	▲56.7	▲42.9	▲57.1	↗
売上額	▲58.1	▲20.0	▲40.0	▲11.4	▲42.9	↗
収益	▲60.5	▲34.3	▲46.7	▲22.9	▲51.4	↗
販売価格	0.0	40.0	20.0	31.4	20.0	↗
仕入価格	48.8	65.7	70.0	62.9	48.6	↘
在庫	▲4.7	11.4	▲3.3	▲5.7	▲11.4	↘
資金繰り	▲34.9	▲29.4	▲23.3	▲37.1	▲37.1	↘
人手	▲2.3	▲20.6	▲10.7	▲14.7	▲11.8	↘

サービス業

今回調査業況DIは、「▲14.3」

～ 前回調査比 13.8ポイントの改善 ～



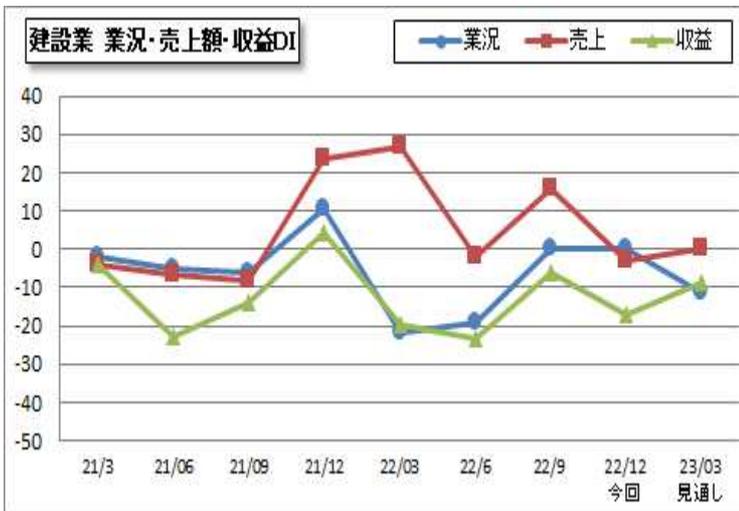
【サービス業 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲54.9	▲29.2	▲28.1	▲14.3	▲23.5	↗
売上額	▲58.8	25.0	12.5	20.0	▲14.7	↗
収益	▲64.7	12.5	0.0	11.4	▲20.6	↗
料金価格	5.9	14.6	21.9	40.0	26.5	↗
材料価格	49.0	66.7	84.4	74.3	70.6	↘
資金繰り	▲32.0	▲25.0	▲12.5	▲14.3	▲20.6	↘
人手	▲9.8	▲35.4	▲34.4	▲34.3	▲34.3	↗

建設業

今回調査業況DIは、「0.0」

～ 前回調査と変わらず ～



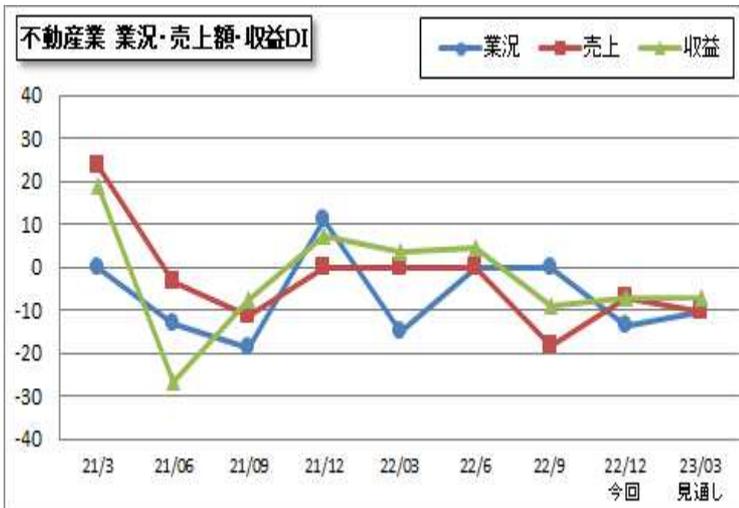
【建設業 主要DI】

	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲21.8	▲19.2	0.0	0.0	▲11.4	→
売上額	▲26.8	▲1.9	15.6	▲2.9	0.0	↘
収益	▲19.6	▲23.1	▲6.3	▲17.1	▲8.6	↘
請負価格	▲3.6	5.8	9.4	20.0	20.0	↗
材料価格	69.6	82.7	84.4	71.4	68.6	↘
在庫	▲5.6	0.0	6.5	▲5.9	▲5.9	↘
資金繰り	0.0	▲9.6	▲6.3	▲2.9	▲5.7	↗
人手	▲37.5	▲43.1	▲41.9	▲51.4	▲48.6	↘

不動産業

今回調査業況DIは、「▲13.8」

～ 前回調査比 13.8ポイントの悪化 ～

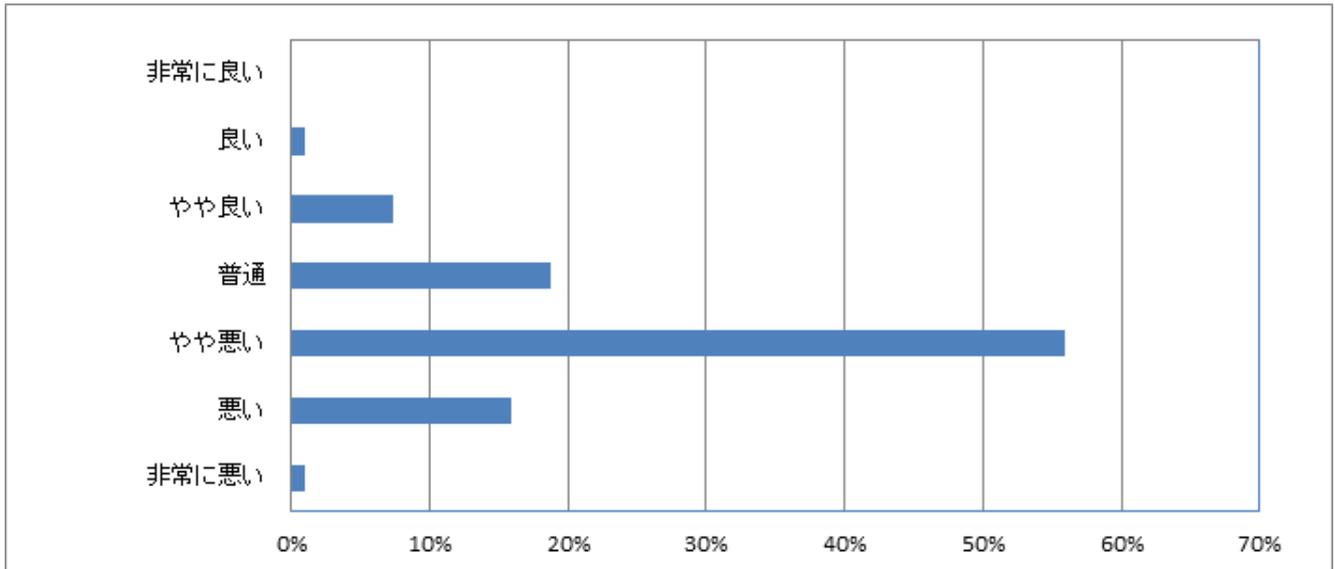


【不動産業 主要DI】

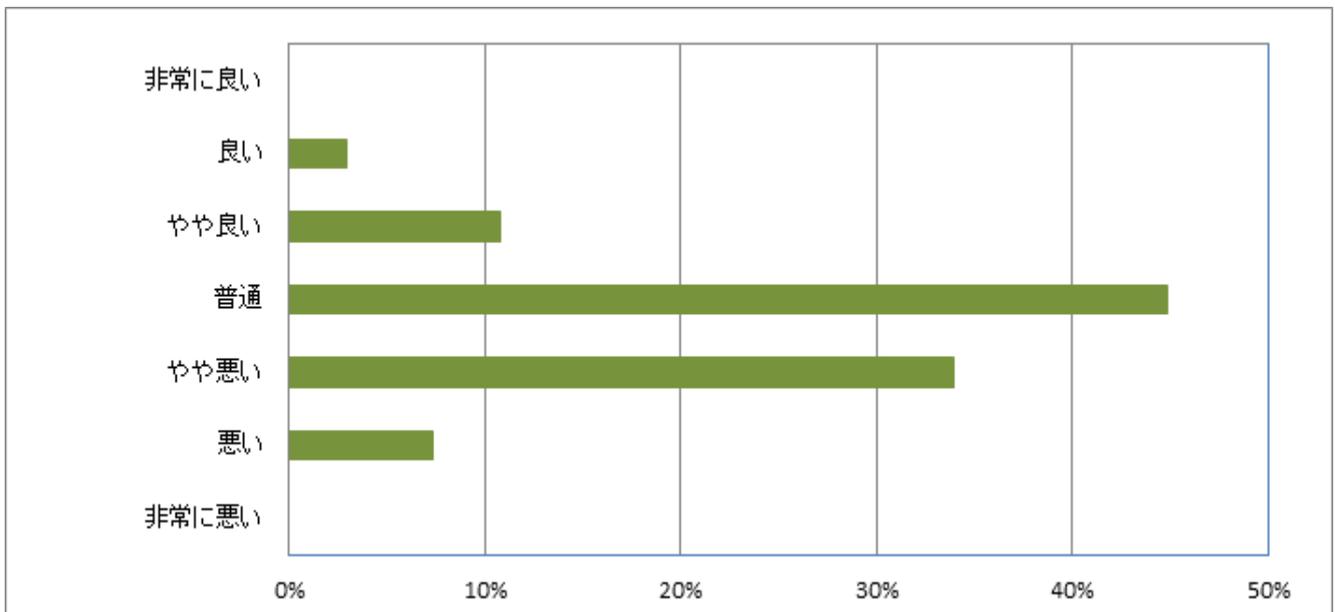
	2022年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2023年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲14.8	0.0	0.0	▲13.8	▲10.3	↘
売上額	0.0	0.0	▲18.2	▲6.9	▲10.3	↗
収益	3.7	4.5	▲9.1	▲6.9	▲6.9	↗
販売価格	11.1	31.8	36.4	20.7	10.3	↘
仕入価格	29.6	23.8	45.5	31.0	20.7	↘
在庫	▲18.5	▲31.8	▲27.3	▲20.7	▲24.1	↗
資金繰り	7.4	0.0	0.0	▲3.4	▲10.3	↘
人手	▲11.5	0.0	▲22.7	▲20.7	▲20.7	↗

特別調査【2023年(令和5年)の経営見通し】

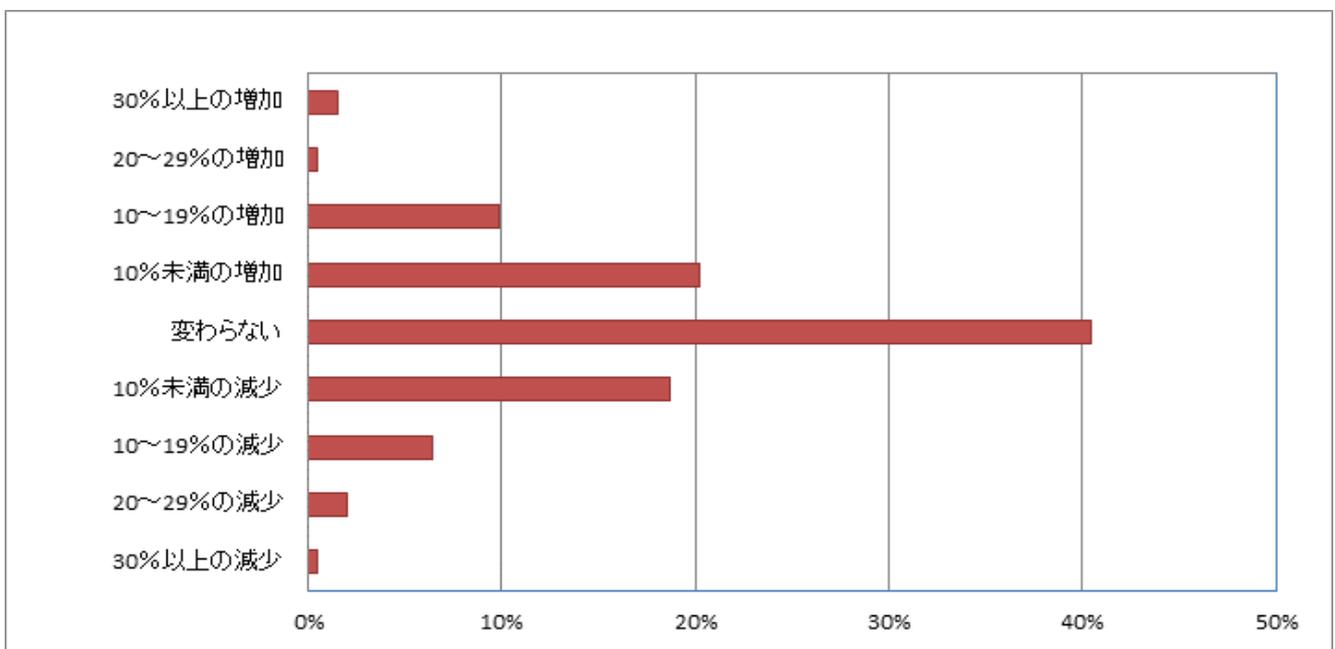
問1. 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。



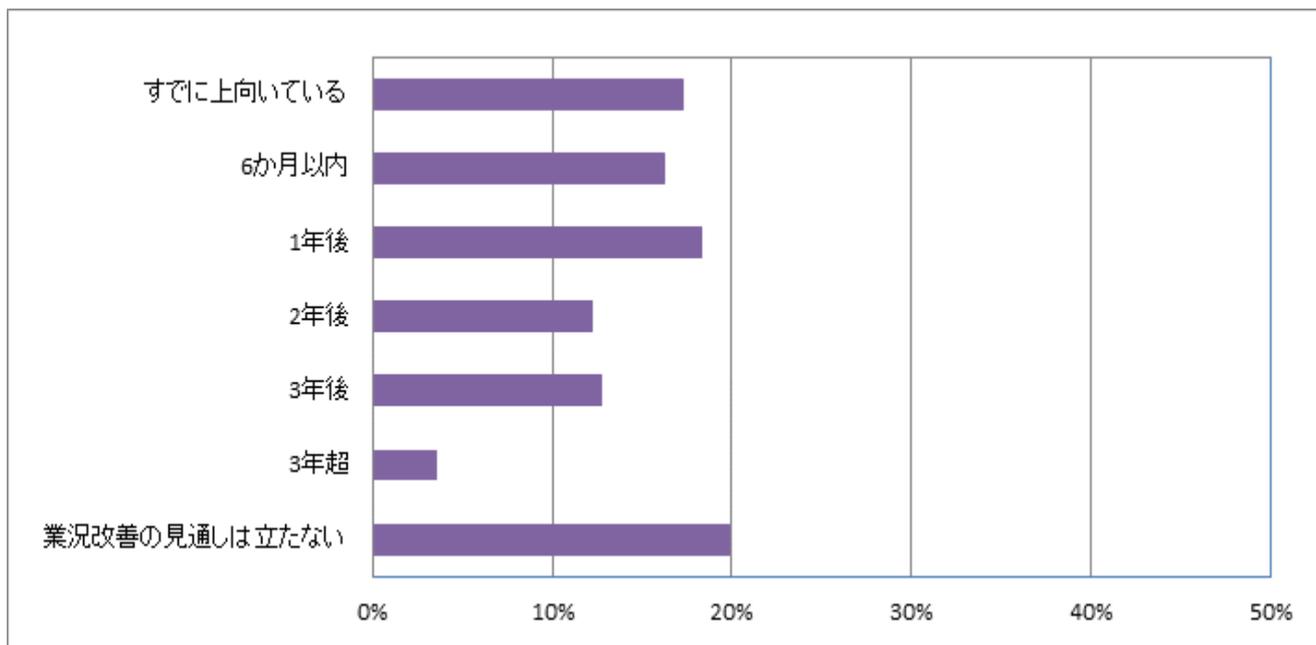
問2. 貴社では、2023年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



問3. 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。

